

□ 随 想 □

須磨琴

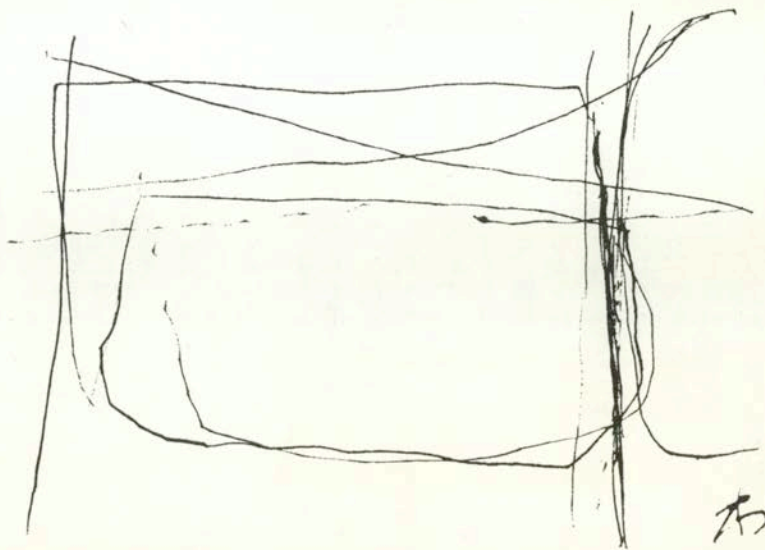
黒 部 亨

え・津高和一

私は楽器のなかでは弦楽器、そのなかでも琴が
いちばん好きで、少年時代には本気で琴を習って
みたいと思った時期があったほどである。いまで
も琴は大好きで、道を歩いていても、どこかの家
からその音がもれてきたりすると、つい足をゆる
めて耳を傾ける習慣がついてしまっている。

琴の音を聴くとき、私は必ず少年期を過ごした
故郷の、すでに人手に渡っているわが家を憶い出

す。裏庭に柿や梨の木がそびえ、びわが色づき、
野菜畑がひろがり、隣家との境界に生けがきがあ
る。その生けがきには小さな抜け穴がつくってあ
る。町内きつての悪童だった私は、これまた町内
きつてのガンコ爺ィだった祖父によく叱られ、木
にしばりつけられたり蔵のなかに閉じこめられた
りしたもののだが、祖父の追跡をのがれて屋敷の外
に飛び出すには、この抜け穴が何よりも便利であ



あ

った。

琴の音は、その生けがきの向うの家から聴こえてくる。学校のポロオルガンをのぞけば、私にあっていちばん身近な楽器がその琴であった。琴の弾き手はその家の娘の女学生で、彼女は毎日その母親にきびしく仕込まれていた。

娘の名前がいまはどうにも憶い出せないが、小学校四、五年生の私は、四つか五つか年上にあたるその少女に淡い憧れをいだいていた。病気がちで色白のさびしそうなその娘が、母親に叱られながら座敷のなかで琴を弾いているのを、私は生けがきの抜け穴から倦きもせず眺めながら、わけもなく胸を痛めたものである。

粗野な田舎っ子の心に、ともかく音の美しさを植えつけてくれたのはその少女で、彼女の琴を聴いているときだけ私は神妙な少年であつた。だから、私はいまだに琴の音を耳にすると、故郷の裏庭の光景とその少女の面影をごく自然に連想するのである。

先日、ふとした機縁で須磨寺をおとずれ、須磨琴（一弦琴）を聴く機会を得た。一弦琴のことは漱石の小説のなかに出てくるのを読んだことがある。一弦琴というからには弦が一本しかないはずで、一本の弦ではたしてまともな曲が弾けるものだろうかと思ひに思つた記憶がある。二十数年後に初めてその実物を見、その音を聴いて、私は何ともいえない感慨を覚えた。

弾いてくださったのは県下でただ一人の一弦琴奏者といわれる和田国子さん（西宮在住）と、そのお弟子さんの主婦の方数人で、須磨寺の執行長（副住職）小池義人師がそばで須磨琴の由緒を説

明してくださつた。

それによると、「松風村雨」伝説で名高い在原行平卿が、須磨浦に流謫の節、閑屋の板庇に冠のひもを張つて作つたのがはじまりだといわれている。一時、衰微していたのを、享和年間、一弦琴中興の祖といわれる覚峰阿闍梨が再興させた。それ以来、河内や土佐を中心に流行し、坂本竜馬などの勤皇の志士もその愛好者だつたという。

一弦ならたいした音も出まいと私は思っていたが、実際に聴いてみると、たつた一枚の板に一弦を張つただけの簡素な板琴からこぼれ出る素朴幽玄なその音色に、私は深い感銘を覚えずにはいられなかつた。何ともいえない哀調を帯びているのだ。須磨の歴史や伝説を背景にしてそれを聴くと、いさう胸がしめつけられる。減びかけていた楽器という先入観が、二重の哀切感をかきたてる。たがいにもつれ合い、からみ合つて響くその余韻は、街の喧噪から離れた静寂な須磨寺の、ツジの咲き乱れた庭園の叢にしっかりとしみこみ、私の胸に、久しく忘れていた故郷の家と人と呼びさましてくれたのであつた。

現在、この琴は、発祥の地のこの須磨で細々と弾きつがれている。繁栄と多忙のなかにとかく自分を見失ないがちな今日、世の片隅でその保存に静かな情熱を傾けていられるこれらの人々を、私は真の幸福者ではなからうかと思つた。

短い時間ながら、それに触れることのできたことに私はほのぼのと胸の温まるものを感じながら、きれいに掃き浄められた須磨寺の境内を出た。

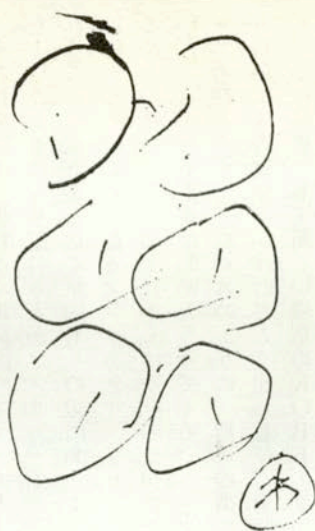
（作家）

□ 随 想 □

神戸とKOBÉ

新谷 秀雄

え・津 高 和 一



神戸に住みついて、かれこれ三十七年、その歳月の流れをふり返ってみて、当然のことながら今昔の感にうたれるのである。

ひところ戦前の神戸という言葉がよく使われたが、やはりそのころは居留地の〇〇番館、トリア・ロードや北野町の界限に住みついた外人がひしめき、その雰囲気エキゾチックな神戸らしさであり、海洋的なローカル・カラーとして親しまれた日本のみなと町でもあった。

往時を知るものにとつて、ただ単なる郷愁としてすまされない神戸の特質があったように思えるのである。今想ってみても懐かしいエキゾチシズムの神戸もながい年月と時代の流れにぬぐい去ら

れてしまった、といつてしまえば、時の趨勢でしかなかったようにもとれるのであるが、何としても惜しいと思うことは、この街にも過去に幾度びかの天災、戦災に見舞われて、その復興を迫られたときがあり、その時期が新しい街造りのチャンスでもあったのは確かである。

神戸開港以来港灣発展の政策として産業を中心大都市として発展をみたものの、その反面には「都市美」に対する関心が薄れていたことも事実のようである。だからといって過密化に慌てて、神戸の未来像としての目標を市民不在のまま、神戸をKOBÉに変貌させるだけの都市構造変革であつてはならないと思う。すでにKOBÉ市のマスタープランが出来上つている。今の時点での進歩性のすべてがアメリカナイズされる近代化、そして日本の大都市構造の画一化、といった特徴のない時勢追従型氾濫の現象に息づまりを感じ、いずれは悩まされるのではなからうか。どうせ変革させるなら、もつと他都市が望み得ない性格で独自の神戸の顔としての感覚から近代都市KOBÉを誕生させたらと思う。

奈良には古都としての静かな佇まい、京都の古寺を中心とした宗教的な観光都市があり、大阪の近代産業と結びついたマンモス都市が隣接しているが、昔繁栄をみた港町神戸には観光資源が乏しい。残念なことに観せるものがない。自然に恵まれた美しい環境だけが頼りなのである。神戸の都市構造も京都に似て方形を基本として区画されている。これは東洋的な概念からはじまっているため、ヨーロッパの都市のように至るところに広場

をとることは不可能に近い。三角形を基本とした構成の都市構造は、その区画が放射状に道路の拡がりを見せるためにその間に広場を造ることが容易であり、この広場が街造りの美観にも役立っている。したがって都市全体の公園化ということにも結びつくのである。

マルセーユ市に造られたル・コルビエジュの設計によるアパートなどは、緑に囲まれた環境造りを意図として、まるで公園の中に住宅を建てたと思えない理想的なプランで実に美しい。ヨーロッパのそれは石造りの都市であり、中世紀からの区画制で今の日本では模倣するとしても不可能なことでもある。

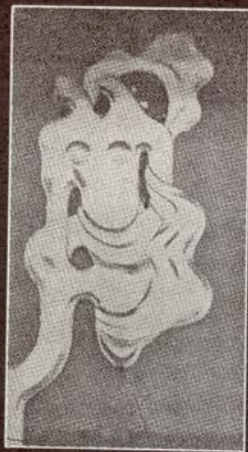
「そのためには、止むなく新興国のアメリカ方式をということになり、日本人がアメリカナイズされることに親近感を抱く原因もその辺にあるように思えるのである。益々アメリカナイズされてくる都会の性格としてのこれからは空間の使用性ということが最も重要な問題となってくる。ニューヨークのスカイ・クレパスのように、神戸の街にもやがては高層建築が林のごとく建ち並び、道路も、また高層化して新しい様相のK O B Eの都市美（？）が生れつつある。都会の深層化という現象は、人口過剰からくる空間の使用であり創造の智慧なのである。鉄筋コンクリートやガラス張りの高層建築の壁面自体が乱立してくると、無装飾の装飾の役割りを果たすようになり、そのファサードが無機能的なものになってくる。そこで有機的なアクセント、すなわち緑の登場が必要となり、都会生活者の心を柔らげてくれるのである。建物自

体が種々雑多な色彩を使用すること、勝手気ままな広告が氾濫するとなると、そこには都市美に対する無関心が暴露されて、秩序の無視と混乱の都会の姿となって現われてくる。

理想のビジョンで新しく都会を設計することは易しいことである。そのためには根底から変革させなければならぬ。これは容易なことではない。時代の趨勢で変貌して出来つつある街をどのようににアレンジしコントロールするか、もはや手段がないのである。

都市美の要素は、建築物と街路と屋外の広告の構成につきると思われる。

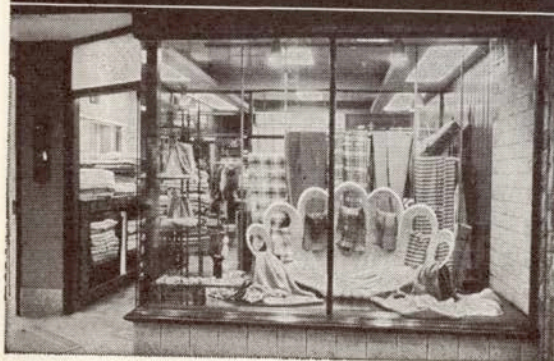
ヨーロッパ各国各都市には、それぞれの個性的な街のデザイン感覚が強烈なまでに反映しており、それがその街の魅力であり訪れる人たちをたのしませているが、これは市民全体が街を美化する心でディスプレイすることに関心を寄せているからなのである。戦前の神戸の姿を見たある外人に神戸の地形を「東洋のコートダジュール」と聞かされたことがある。海と山に挟まれ带状に伸びた地形はたしかに美しいものだった。船から眺めた神戸の街の背景の緑の山肌に赤い屋根が点々と彩られ、海の色は青かった。この美しかった海岸線には、もはや市民の憩える場所は見当らない。だが魅力を失いかけているこの街にも私の好きなところが二つできている。グリーン・ベルトのある県庁舎前の山手通りと、市庁舎の前のフラワールードが新しい神戸の街であり、K O B Eらしい魅力とでもいうのだろうか。



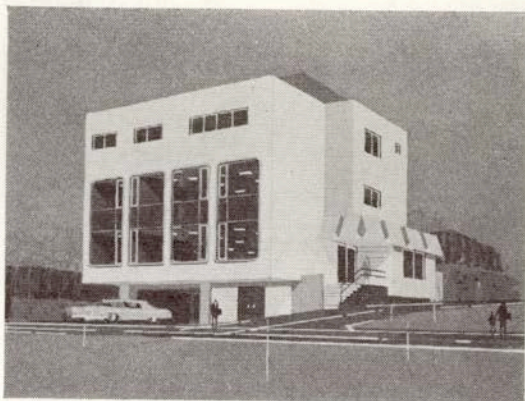
Lady's Shop

La Mode

MOTOMACHI KOBE TEL 33 5689



Akira Beauty Shop



北野町に 8 月オープン の 予定

美容室

あきら

西野 明

電話予約制

三宮本通り TEL 33 4461・6458

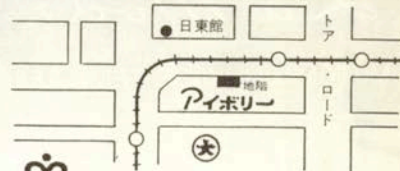


Shya スギヤ

トア・ロード市電大丸電停前
TEL (33) 3 4 3 6
六甲店・阪急六甲駅
TEL (87) 2 7 3 1 (呼)

ショッピングに、ご散策の折に
憩いのオアシス

喫茶アイボリーをご利用下さい



アイボリー

大丸前市電筋浜側
TEL 32-1667



★サンテレビ特集① 神戸っ子対談★

雄県兵庫へサンテレビで飛躍を！

田中寛次 （サンテレビジョン社長
神戸新聞・ラジオ関西各社長）

牛尾吉朗 （ウシオ工業K.K.社長）

★読者が育ててくれた神戸新聞

牛尾 神戸新聞が七十周年をむかえ、同時にラジオ関西が新社屋を完成し、新たな体裁を整えた今日、第一に、地元新聞としての神戸新聞、地元のラジオとしてのラジオ関西であるわけですが、それぞれ神戸という街に結びつけてのお話をうかがいたいですね。

田中 新聞にしても、ラジオにしてもマスコミの一分野です。しかもテレビの電波を獲得した。これだけでいえば、ぼくは兵庫県のマスコミの王者です。その田中が大衆を独占的に支配するようなことがあれば大変なことです。その点、マスコミはすべて大衆のものであり、県民のものである、ぼく自身は大衆への奉仕者である、とい

う自覚のもとに動いているから、全くそんな心配はない。神戸新聞は今年で七十年をむかえたのですが七十年という歴史は新聞界にとっては、そう古いものではないのです。だから、神戸新聞が七十年をむかえてもそのことだけを喜ぶわけにはいかないが、日本を支配しているような大阪の大新聞のもので、七十年の生活をして、さらに発展しているということは、兵庫県民が神戸新聞を愛し、育てたということの結果なのです。この間七十年の記念式典のとき、読者に感謝するのだ、読者が育ててきたのだ、それらばその読者に報いるためにより立派な神戸新聞をつくるのだ、より以上に地域社会に貢献するのだ、といったのです。今度のサンテレビにしても、電波を県民のものとするために、ぼくは十年間苦勞してきました。これは郵政省が県民代表の田中寛次に与えたのです。ですから本当の所有者は県民全部であって、四五〇万人一人々々の電波であるのです。このテレビを育成することは県民が自分のテレビを育成することになる。このことは、すべての県民に理解してもらいたいです。

牛尾 我々若い者はよく考えることですが、現在、広域経済圏というものが、神戸市だけでなく兵庫県で非常に重大であるわけです。ぼくはその意味では、神戸新聞は近畿の新聞である、という考え方を持っているのです。こういう点を踏まえて、田中社長にもっと広い意味での大きいリーダーシップを考えてもらいたいですね。

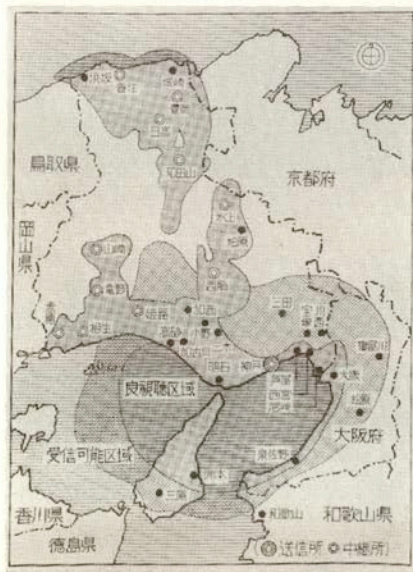
田中 今あなたの意見に同調すれば、これは大言壮語になる。神戸新聞は県下にだけ販路を持っているのです。ラジオ関西の電波にしても、遠方でも聞こえるでしょうが、地域を意識し、地域のための電波であることを意識しているからこそ、県下の電波なのです。

★サンテレビによってこそ密着した対話の場合が
牛尾 サンテレビの方は田中社長の十年間の努力が実って実現し、初めて兵庫県にテレビ局ができ、すべての県民はこのことに興味をもち、期待もしているのです。これに

関して田中社長はどういうように考えておられますか。
田中 今日、たった今関西テレビの役員会で代表取締役の辞表を出してきた。なぜ辞めたかという点、サービスエリアの競合する同系の責任者を兼務することは、ぼくの信念が許さない、ということからです。サンテレビに専念することが、ぼくに与えられた使命である、といって辞表を出した。この信念は皆に理解してもらいたい。

現在の状態では、県も市も広報宣伝ができない。こんなことでは、「雄県兵庫」とはいえませんが。雄県にさせるために、どうしても電波を持つ必要がある。県民が全部電波の所有者であると同時に、自らがプロモーターに、プロデューサーに、タレントになってもらいたい。そこに初めて、電波が本当に地域社会に貢献できる、と思うのです。新聞ではどうしても手の届かないところがあります。もっと密着した対話の場というものが、このUHFの電波によって県民に与えられるのです。県及び市、各地方の自治体全部がこれによって発展するので、県民も自分たちのいいことを、テレビの電波を通じていうことができる。本当に県民の生活を向上させるような電波になれば、これは大阪のテレビ局が面白い

サンテレビのサービスエリア。県下に送信所を十一カ所設置することによって、電波の谷間がなくなる。



番組を流しても、県民全部がこのサンテレビを見るようになるだろう。しかし、これは非常な苦勞です。神戸市内にある受像機には、ほとんどの出す電波はそのままで映らないのです。このテレビを見るためには、コンバーターがいる。姫路とちがって、神戸もしくは阪神間はなかなか容易ではない。コンバーターが一つでも多くつけば、それだけ我々の使命は達成されていくのです。

牛尾 兵庫県下にテレビ局開設という画期的なできごとで、これは我々としては想像もできなかったことです。現在新たなテレビとして、すでにあるテレビ局とちがった特徴を出す必要があると思うのです。その点、県民に密着したテレビ、という以外のはか独自の方針などありませんでしょうか。

★県民の市民の生活の向上がサンテレビの電波の目的
田中 たとえば、淡路と但馬では生活も異なれば民度もちがう。しかし、テレビという電波によって両地の農民同士の対談が実現するのです。そしてお互いに良い点を認めあって、それが向上に通じて行くことになります。



上は牛尾吉朗氏

田中 たとえば架橋の問題にしても、兵庫県は広いですし、各地域の利害などがあって、県民の意志が統一されていないのです。そのために紙面の上で非常に苦勞している。毎日々々記事をのせても読んでくれないと効果はない。それに比べるとテレビの方がスイッチだけで茶の間に入ってくる。橋の問題でも、空港でも知らず識らずのうちに頭の中で自分たちとの生活の関連を考えるようになる、と思います。そういう電波の特性をうまく新聞とタイアップして生かせば、これらの面でも効果は大きいです。

日常の生活の中で県民の民度を高め、生活を向上させるものがでてくると思うのです。それが新聞ではなかなかできない。知事同士の対話でなく、お互い農民同士の対話であるところに、密着した親近感がでる。新聞だと一日遅れるものが、スイッチ一つで茶の間にその日のニュースがわかる。県の行政にしても、電波で入ってくるとなると、今までとはちがって非常に自分たちの生活に密着したものとして県民は受取るようになる。県の行政に千万円使っていたものが、電波の行政では十萬円で済むかもしれない。するとそれだけ県民の税金は安くなる。ここまで行けば良いのですがね。

牛尾 現在問題になっている新関西国際空港、それに付随して明石架橋、ポートアイランドなどの一連の兵庫県行政、神戸市行政の新たな未来像が、新聞、ラジオ、テレビといった三つを媒体にして県民に知らされて行くことは、非常にプラスだと思います。神戸の地盤沈下といわれている現在、それを逆に巻きかえすぐらいの大きい勢力になるでしょうね。その点に関して、新たな神戸、阪神地区、また播磨工業地帯を中心とした兵庫県の経済情勢に対処した考えを伺いたいのですが。

★ただ猪突猛進がすべてを可能にする

牛尾 私はいつも田中社長から学ぶべきことがある、といっているのですが、田中社長は、大言壮語というより大きな理想を持たれる。このたびのサンテレビの場合でも、その理想が一步実現したといえます。この点で我々は田中社長をあらためて見直したということですね。

人間、がむしゃらにやらなければならない、という田中社長の人生観を再認識しました。(笑)

田中 誰かがむしゃらにやっているのだ。(笑)

牛尾 目的に向って猪突猛進する、ということですが。この人生感には大いに共鳴するのですが、テレビを終えられてこの次に来るものは何でしょうか。

田中 ナッシング。

牛尾 そう簡単にいわれては。(笑) まだ他に何かあると思うのですが。

田中 そんな事が仮にあったとしたら、テレビなんかはできません。

牛尾 テレビに生きる男ですね。(笑)

田中 当然です。他に何か考えているなんていったら、部下が怒ります。みな真剣に、白い紙に自分で何もかも書くのだという意欲でもって仕事をしているのです。テレビに対して他のどれよりも意欲的なのは、神戸新聞の場合は全く何も知らずにぼくは招かれたのです。とんでもないところに来たと思いましたが。あの当時は発行部数も三万ぐらいでしたから。社員の月給も本当にしているし、緒方竹虎さんを恨みました。ラジオの時もぼくはやる気は全然なかったのです。それが宮崎彦一郎さんに頼みこまれた。ですから新聞もラジオもぼくにっては降って湧いたようなものです。ところがテレビは、ぼくの信念に基づいて県民が持たなければならぬ、と思って始めた。そのために郵政省で喧嘩ばかりしてきたのです。このサンテレビに生命を賭してきた、といえは大げさになりますが、実際それぐらいの気持できてい

る。だからテレビの次に何をするかと聞かれたら即座にナッシングと答えるしかない。

牛尾 そういう面では、田中社長は非常に幸福な人だと思いますね。

田中 どうして。

牛尾 自分の欲しいものはすでに獲得されたし、現在、それを徹底的にやるんだという信念をテレビに通されている。ここで田中社長に要請したいことは、県民の電波県民のテレビということとを絶対に忘れていただきたい、ということ。次に、これだけされた以上は必ず成功してもらいたい。神戸市民においても県民においても、全面的に協力しなければならない、と思うのです。

田中 本当にその通りです。皆がその気持になってくれれば成功すると思うのです。そして、この仕事を助けてくれるのは県民全部である。県民がぼくを助けるのは、ぼくの正義しかないのです。その正義を生かして成功させないという意味ですからね。

牛尾 我々のためにも成功させるべきです。

田中 そうです。今は一人でも多くの理解者を求めることがぼくにとって一番大切なことです。

★田中社長、再び神戸に帰る。

牛尾 田中社長はサンテレビと結びついて、やっと神戸に帰って来た、という感じがしますね。

田中 足が神戸の地についたといえるかも知れない。

牛尾 その意味において、神戸経済界、特に我々若いものは大歓迎です。今までは関西テレビの代表取締役をされたり、テレビの電波を取るためであって、神戸をあまりにも離れていましたね。我々としては、田中社長が再び神戸に帰られた、という感じがします。この神戸に帰られた、という我々の期待を、より一層かなえて下さるよう頑張っていたきたいですね。

経済ポケット

ジャーナル

★近代経営欠くケミ カルシューズ

神戸の特産といえばケミカルシューズだが、兵庫県が四十二年度のモデル特産工業にとり上げた産地総合調査では、きびしい診断をされている。

この業界は従来地元労働力を利用していたが①業界の好況で労働力需要が増大した②他の好況産業に吸収された③他地区から新規労働力を受け入れるだけの地盤を持たない④生産を合理化し労働節約的な方式を取り入れなかった—ことで、いまだ労働力不足を解決できていない。また賃金制度は貼工という女子労働者については単純出来高制で、退職金制はむしろん社会保険などの法定福利さえきう傾向がある。男子労働者は常用だが女子労働者の高い手取り賃金と対比して給与に対する不満が多く、定着しない。

一部を除き組織的な経営管理意識を持たない。ドンブリ勘定が多く経営態度は短期的、投機的。貼工を中



心とした手作業は労働力不足、賃金上昇から限界にきており、新鋭機の導入に考えられてはいるものの投資額市場開拓の問題と原価意識に徹した生産管理を考えなければ、企業経営は成り立たない。

ともあれ業界の将来は①近代的な企業経営のイロハだけでも理解する②グループ化を進めて加工所から流通業者まで結び、業界一体化を強める—ことができるかどうかにかかっている。

★神戸市が一億マルクの 外債発行

神戸市の一億マルク（九十億円）の外債発行が決まった。これによりポートアイランド造成工事の当面の資金にメドがつけいたことになる。市はうまいければ第二次、第三次のマルク債発行を計画することにしており、スミースに進めばポートアイランドは四十九年春の完成予定もいくぶん早まりそう。

ポートアイランド建設は市費だけでも三百四十億円

に上る大事業なので、市がかねて大蔵省に外債発行を打診していたもの。発行条件は今後の交渉にかかっているが、さる二月に政府の発行したマルク建て産投国債の表面利率七%、期間十五年程度になりそう。ポートアイランド造成は四十一—四十八年度の八カ年計画で総事業費九百二十億一億円。市単独事業として三百十一万平方メートルの埋め立て造成をやらなければならぬ。事業費はほとんど起債にたよる計画だが、国内での起債は海面埋め立て事業会計では毎年二十億—三十億円ぐらいいしか認められないので、外債発行に踏み切った。

★神戸市が主婦の 消費者学級

「消費者基本法」なるものが国会で成立したが、神

戸市では家庭の主婦による自主的な消費研究グループを育成するため五月末ごろをメドに市内約十カ所に「消費者学級」をつくる。神戸市消費者協会（土井芳子会長、二千五百人）を母体にして、参加する主婦が自分たちで研究テーマを決め講師を選んで自主的に学級を運営するのが従来の消費者研究講座と違うところ。年間二十時間以上の研究会を開き、物価の仕組み、食品衛生の知識、消費者保護関連法など市の定める必須課目を五時間以上勉強するほかは、テーマや講師をそれぞれの学級で独自に選ぶ。一学級は約三十人、一般婦人が参加できるように団地単位、町会単位で編成、会場は学校など公共施設を市があっせんすることになっている。

K O B E オフィスレディ



長谷川恵子さん（19）

大同機械貿易KK 経理課勤務

音楽部在籍、毎日退社後、洋裁、華道、茶道と多忙な彼女は、友人評同様、一見しておとなしい女性である。営業課から今年2月に経理課へ。可愛い服装が好きでブルーとかきれいな色が大好き。徳島生まれで本庄町へ転居。武庫川高校卒。朝のお化粧の時間は？と聞くと、十分以内です、と友達と笑いあう。

★技術ジャーナル

エア・スピニング

(空中架線法)

諸岡博能

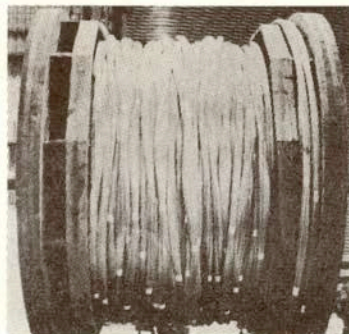
△神戸市企画局調査部副主幹▽

●長大吊橋の主ケーブルの架設方法としては、約一五〇年前アメリカで開発されたパラレル・ワイヤ・スピニング工法があります。現存する長大吊橋で有名なのは、ニューヨークにあるブルックリン橋です。パラレル・ワイヤ・ケーブルとは、よりあわせない一本一本平行した直径約五ミリメートルのワイヤを何万本とたばねる方法で、今日の長大吊橋にはすべてこの方法が応用されているのを見ると、いかに、この技術の発明者ジョン・A・レーブリングがすぐれていたかがわかります。

ちなみに、ブルックリン橋は工期十八年も要して明治十六年に完成した現存する吊橋です。車線数は六車線もありますから、充分現在の交通の役に立っております。

× × ×
●橋脚と橋脚の間をスパンといつて、中央部の大きいところをセンター・スパンと呼びます。この大きさの大小で吊橋が大きいとか小さいとかいうのであって、橋の長さ全体では比較しません。このレ

ーブリッジ工法は、大体、メイン・スパン五〇〇メートル以下の吊橋ではあまり応用されません。メイン・スパン三六七メートルの若戸大橋は、よりあわせたワイヤ・ロープをたばねて主ケーブルをつくっております。日本では、実験的に実施した小さな吊橋を除いて、本格的な平行線ケーブル工法を用いて建設した橋はありません。また、この平行線ケーブル工法は、アメリカ独特の技術で、技術王国のイギリスでさえ、フォース道路橋（世界第六位、昭和三十九年完成）のメイン・ケーブルはアメリカの技術者の手によっています。



▲リールに巻き取ったニコーポート橋用のストランド（長さ約二三八〇メートル）

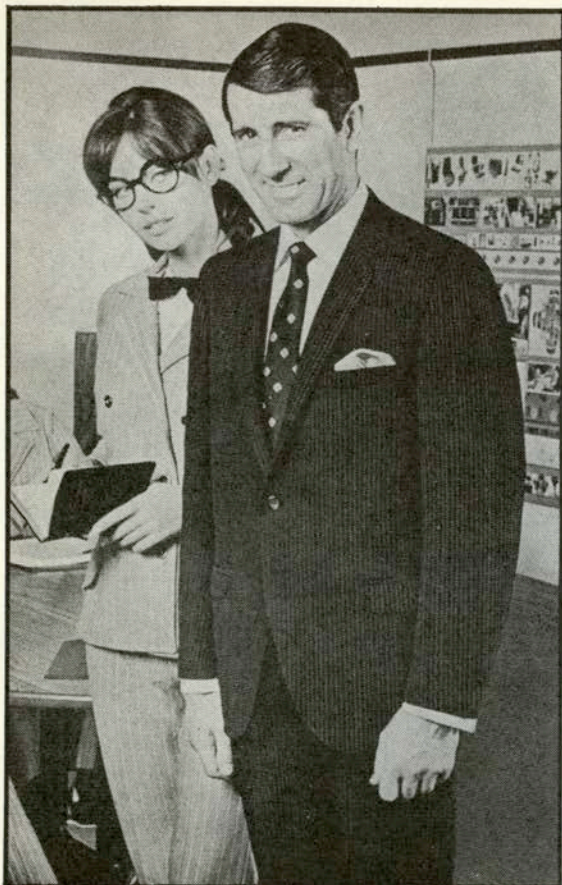
× × ×
●このように一五〇年間も、パラレル・ワイヤ工法は世界の吊橋界をリードしてきましたが、このたびアメリカのベスレ・ヘム・スチー

ル社がブレハブ・ストランド・ケーブル工法を新たに開発し、吊橋技術に一紀元を与えました。

すなわち、パラレル・ワイヤ工法では、ケーブルを構成する直径約五ミリメートルの素線（ワイヤ）を一本一本空中で張り渡して、たるみ（サグ）を調整してケーブルにまとめる方法です。これは、高いところでの現場作業のため、工期が長びき、とくに天候の影響を強くうけるという欠点があります。これにひきかえ、このストランド工法は、あらかじめ、工場で数十本のワイヤを平行にたばねて、ストランド（束線）を大量に工場生産します。これをリールにまき取って現場に運び、架設します。このストランドを調整すればメイン・ケーブルは完成するわけですから、実に簡単に確実、正確な架設方法といえます。

× × ×
●この新しい技術による世界最初の橋が、アメリカ・ロードアイランド州ナラガンセット湾にかかる、メイン・スパン四八八メートルのニコーポート橋で実現しかかっています。

ニコーポート橋で、在来のパラレル・スピニング工法と新しいブレハブ・ストランド工法による架設費を比較してみますと、前者百に対し後者八三となっております



O-SHIBATA

金 柴田音吉洋服店

神戸・元町通4丁目 神戸 34-0693
大阪・高麗橋2丁目 大阪 231-2106



1870 SINCE



BERLIN
ORIGINAL PELO

日本販売元

元町バザー

神戸・元町1丁目 TEL (33) 1401-7031
東京・東急百貨店 渋谷・日本橋

上月 晃さんも
 (宝塚歌劇団)
 芸夢を
 ごひいきです



舶来アクセサリ、服飾小物など
 芸夢の品があなたの夢をかなえます
 ぜひ一度お立寄り下さい



コスチュームアクセサリの店

EIMU 芸 げいむ 夢

神戸店/トアロード (33) 2293・8643

大阪店/心斎橋ロビー (211) 5153・1044

ブティモント・エッチャン (211) 8503

さんちか店/レディスタウン (39) 2855

京都店/藤井大丸 1F (231) 8181

東京店/東急日本橋 1F (211) 0511

CoolSix

SUMMER CANDY

新製品!



クールなタッチのクールなキャンディ……
 クールシックスサマーキャンディ

チョコレート*キャンデー

ゴンチャロフ

本社 神戸市生田区加納町4の1 TEL 39-2636
 直売店 さんちか・スイーツタウン TEL 39-3563

神戸カーニバル参加奮戦記

「フラワーロードサンバを奏でる小曾根実トリオをのせたサンバ神戸っ子のトラック。」



「テンテケテン テンテケテン テンテケテン……」
サンバのリズムは身体の底にうづくまっっている素朴な踊りの心を自然にひきだしてくれる。

両手をいっぱい空にひろげ、ミニスカートの足をあげ飛びはね踊る。タンバリンをふりならす。

「テンテケテン テンテケテン テンテケテン……」

「神戸っ子チーム」は、フラワーロードをサンバのリズムにゆだねて無心に踊った。

「爽快ノ」。踊りながら、ふと山の緑と、水色の五月の空が眼に入ったとき「ああ、いいぞ」と神戸の街のおもしろさが胸中にひろがっていった。

× × × × ×

このわれら「神戸っ子チーム」が参加した「神戸カーニバル」は、役所の祭りみたいな最近の「みなと祭」にアキアキした市民感情の爆発が、神戸らしい、市民自身の祭りを、という願望から生まれた市民のお祭りなのがある。

昨年は五月十五日の「神戸開港百年祭」との併催で行われ大成功をおさめたが、今年第二回目を開き、「神戸カーニバル」を定着させようとするころみは、どこまでこれが市民に支持され成功するかという、やはり大きなカケだったといわなければならないだろう。

第一回は毎日新聞神戸支局の涙ぐましい努力が、火つけ役としての重責を果たした。今年は神戸カーニバル協会が設立されて、市民代表が毎日新聞神戸支局とともにこの役をうけることになった。

て音楽のリズムにのるまでは「エライコッチャナー」と気が重いのである。

残念ながら予算は市から百万円という微々たるもの。しかしお祭りなんてものは、リラックスに参加することがまず第一。みんなの知恵の集まりで貧乏予算でも何とか成功させなければ意味がない。というようなミミッチイ話は別にして、昨年市民の立場から大いに協力しようとしてバレード参加と、噴水広場の担当をうけもった「神戸っ子編集部」では、今年もバレードにはぜひとも参加しなければならぬ。また、噴水広場は青年広場と名付けられ、神戸青年会議所、そこうとともに「神戸っ子編集部」も協力することになった。

五月四日が前夜祭。そして、五月五日子供の日が神戸カーニバルと日程が定まり、センター街や元町、さんちかタウンのウィンドウにポスターが前景気をあふりはじめたのである。

× × × × ×

ほとんどのことをいって、お祭りに参加することとはシンディことである。お金はかかる。大変だ。ことにバレードは、まず自分自身が何やら気恥かしい。「エイッ」と覚悟が出来るのは当日も出発寸前。衣裳をつけ

この辺りが、新しい祭りづくりの心構えの大切な点でまず自身自身をオッチョコチャイ精神でハレンチにやろうと納得させ、次に、人々を祭りの中に誘いこむデモンストレーションがまた一騒動なのである。日本人はとにかく照れやんであって、ささいこむまではこちが「コンチキショウ」と腹が立つほどである。しかし、いがいに学生は早い。デモの経験があるものもあるし、学園祭でお祭りをやることにはなれている。貧乏世帯の「神戸っ子チーム」は、学生諸君を中心にしたヤンガーゼネレーションで編成されることになった。

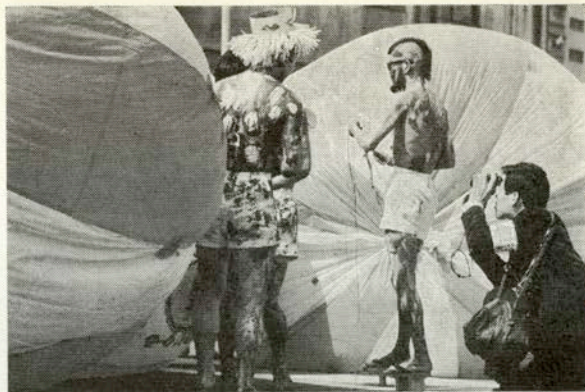
タイトルは「サンバ神戸っ子」。今年作曲された小曾根実さんのテーマソング「フラッソーロードサンバ」でサンバをものにしようというアイデアだ。そして当日も、ミーフの11PMトリオに参加してもらうことになった。この他に音楽は「ベルベッツ」と「ファイブ・ジョーカーズ」という学生バンドが決定。装飾は神大美術部の植松君をはじめ関学のお嬢さんなど各大学の若ものが、トンカ

▲サンバでバレードする神戸っ子チーム。

▲世界のちびっこが手をつないで踊る。

▲フイリピンチームのバンブーダンス。





▶ハブニングのデカイ風船をあげるアーチストたち。

韓国の優雅な宮中獅子舞い。神戸なればこそ。

ローストシティの慢馬車ならぬ慢力。

チ、トンカチ、セーターとGパンをドロコンコにして絵具をぬりたくり、つくりあげてくれた。サイケ調のトラックの壁がオレンジと黄緑と紺とピンクでカラフルに彩られてゆく。「ほく、ゆうべ寝んと、このデザイン考えてんシー」と植松君。そして衣裳は自前。参加費が各自八百円。かなり若い世代にはムリな話だ。というのも今年は第二回目で、昨年のように開港百年祭という名目がないからどうしてもスポンサーがつきにくい。神戸っ子チームの場合、トラック、バンド、装飾、電気装置など、かなりな費用が必要なのだ。しかし、お祭りは、こういうった難関を一つ一つみんなの知恵をあつめ、助けあい、金持ちには金持なりの、貧乏世帯は貧乏世帯なりの方法を講じてゆくところに妙味がある。

次にダンスのうまい井知地さんが「フラワールードサンバ」をふりつけ、踊ってもらう。

「ウェーッノ」「こんなん踊るの？」まったく彼女は鮮やかなものである。が、まったくもってこれが踊れれば、神戸っ子ダンシングチーム。ビルの屋上でトンカチの手を休めてダンスの稽古。ついてゆくだけでせい

ばい。ヘトヘトになる。阿波踊りよりすごい。

「これはスマートになりますよ」。そしてGパンスタイルの男子学生も、ウェストサイド物語よろしく、モダンな振付が気に入って、へっぴり腰で踊り始めた。

× × × × × × × ×

前夜祭の小雨模様ひきかえ、子供の日は五月晴れ。パレードは一時から港の汽笛のファンファーレで始まった。すごい人出だ。フラワールードの見える編集室からは、鮮やかな婦人団体の「カーニバル音頭」の踊りが見える。(わが軍はああも整然とゆかへんやろな。サンバを皆がうまいこと踊ってくれるかしらん。半分以上的人是も踊りも知らへん……) いささか心配だ。朝から最後の仕上げの装飾にあたっている植松君たちも、楽隊や沿道をうずめた人並にハリキッているが、四トントラックは午後二時到着だ。それからトラックを飾るわけ。風船屋さんが、シュエッシュとふくらませ始めた。去年も沿道の子供や大人がうばいあうように風船を喜んで持ってくれた。今年は子供の日だからせいぜい子供たちに四千個の風船をあげよう。



青年広場はゴーゴーリズムで若者の天国。しかしケンカとケガ人はなかった。

のサンバをみんなが踊りはじめる。

「テンテケテン テンテケテン テンテケテン」

カメラマンが押しよせてミニの足もとからバチバチ。

「エッチね」このあたりはまだ余裕がある。フラワーロードと京町筋で四つの審査席。はりきらざるを得ない。

いつのまにか全員が、振付をおぼえて格好よく踊っている。うまいもんだ。サンバのリズムなら若い人はOKだ。最後までとにかくよく踊った。ハダシで踊って足の皮がむけてビッコをひいている人。でもまだまだ踊れる。とにかく愉快だった。この一瞬にすべてを集中して、青空の下でエネルギーを爆発させたことが……。

「フラワーロードをデモったことはあるけれど、踊って通るなんて初めてや。こんなに気持がええとは知らなんだネ」と学生の人がいう。

オッチョコチョイで踊れるわれら神戸っ子は幸せだ。見ていた人も楽しかったろう。インド、韓国、フィリピン、ブラジル、アメリカ、中国などお国ぶりを発揮すれば、獅子舞あり、阿波踊りあり、ハブニングあり、ウェスタン、サンバなどと国際色ゆたかな祭りである。それぞれのチームの創意と熱意がむんむんと揺れあふれた。この創意は、この神戸カーニバルを成功させ、盛大に発展させる何よりの鍵である。そしてこの祭りの陰で市民をささえるお巡りさんの姿も忘れられない。ありがとう。

しかし、翌日の各新聞を見ていささかガッカリした。一支部が主体性をとるとかくまでつれない紙面づくりをするのかと。神戸市民のための祭りという本来の意味を考えて、来年は神戸市民のためにも「エエカッコ」をしないで神戸カーニバル協会を盛りたててほしいと思う。また、市長さんも知事さんも来年はぜひ出席してください。そして「あんなつまらん祭……」と文句をいっている市民のかたがあれば、だまって一度参加されてはいかが。市民、市、県、警察、報道陣などが一体になってこそ、はじめてこの祭りは定着するのではなからうか。年に一度の「神戸カーニバル」をコスモポリタンな祭りにするもしないも、われわれ神戸っ子自身の問題だ。来年は、サンテレビでも実況中継をみたい。

(編集部・小泉美喜子)

狭い編集室で、ライト・ピンクのミニの衣裳に、真黄のレイを花の帽子に。手にタンバリンを持ち、飾りめがねをかける。赤いシャツ、黄いシャツ、グリーンシャツの若者たち。羽根の帽子は、オレンジ、赤、ピンク、キミドリ強烈な色だ。出場時間は四時。三時半にサテスタを終えた小曽根チームがやっと車に乗りこむ。車をおくところがなくてとスレスレにやってくる「ファイブ・ジョーカーズ」の面々。仕事をやっとすんだとかけつけてくるチームの人々。冷汗ものだがバレードが遅れているので何とか間に合う。

いよいよバレードだ。前をゆく三宮センター街チームもハリキッテいる。負けられないぞ。フラワーロードサンバの曲が流れて、一夜づけ

Nakaniwa



宝石
貴金属
時計

梅田阪急前店オープン

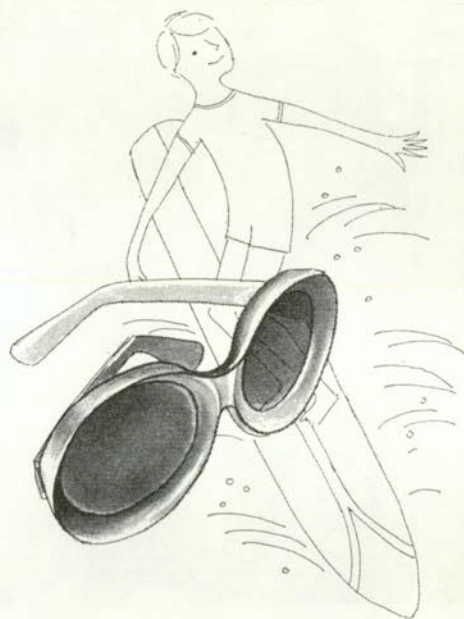
仲庭

さんちかタウン (39) 4 5 9 3
梅田新道 堂ビル北(364)8121代表
梅 田 阪 急 前(御東筋東側)
(313) 0512~3
桜 橋 毎日新聞社前(341)0412
新 大 阪 ス テ ー シ ョ ン ス ト ア
大 阪 ロ イ ヤ ル ホ テ ル セ イ コ シ ョ ッ プ

神戸眼鏡院だけの
'68トップサングラス

**ROYAL
HAWAIIAN
GLASS**

ロイヤル ハワイアン グラス



ロイヤルハワイアン
1,500円より各種

神戸眼鏡院

元町店・元町3丁目 ☎(32)1212代表

三宮店・さんちかタウン ☎(39)1874~5

4月27日
4時のマックのお客さま



若人の服飾《マック》

MAC

★三宮本店／神戸センター街 ☎0895 ★トアロード店／セ
ンター街西口 ☎0896 ★新開地店／新開地本通り ☎7688
★姫路店 ★京都店

本格派の人々に愛される神戸の靴です



紳士靴＊婦人靴

ヨシオカ

大丸前 TEL33-5190・9763
日本橋・東急百貨店日本橋店1階 (211) 0511
渋谷・東急百貨店本店 (462) 3436